改 ドローンによる森林調査等実証事業

当初

森林経営課 7，835千円
【財源：森林環境譲与税基金、宮崎再生基金】

事業の目的

ドローンによるレーザ計測等を複合的に用いた森林調査やクラウド型ドローン測量サービスを活用した施業管理をモデルとして実践し、森林調査等の省力化やイノベーションの創出に向けた林業のデジタル化・ＤＸを推進する。

事業の概要

(1) 事業内容

①ドローンによる森林調査の実践（6,295千円）
県営林等をモデルとしたドローンレーザ計測等を複合的に用いた森林調査の実践と素材生産のための資源情報として活用

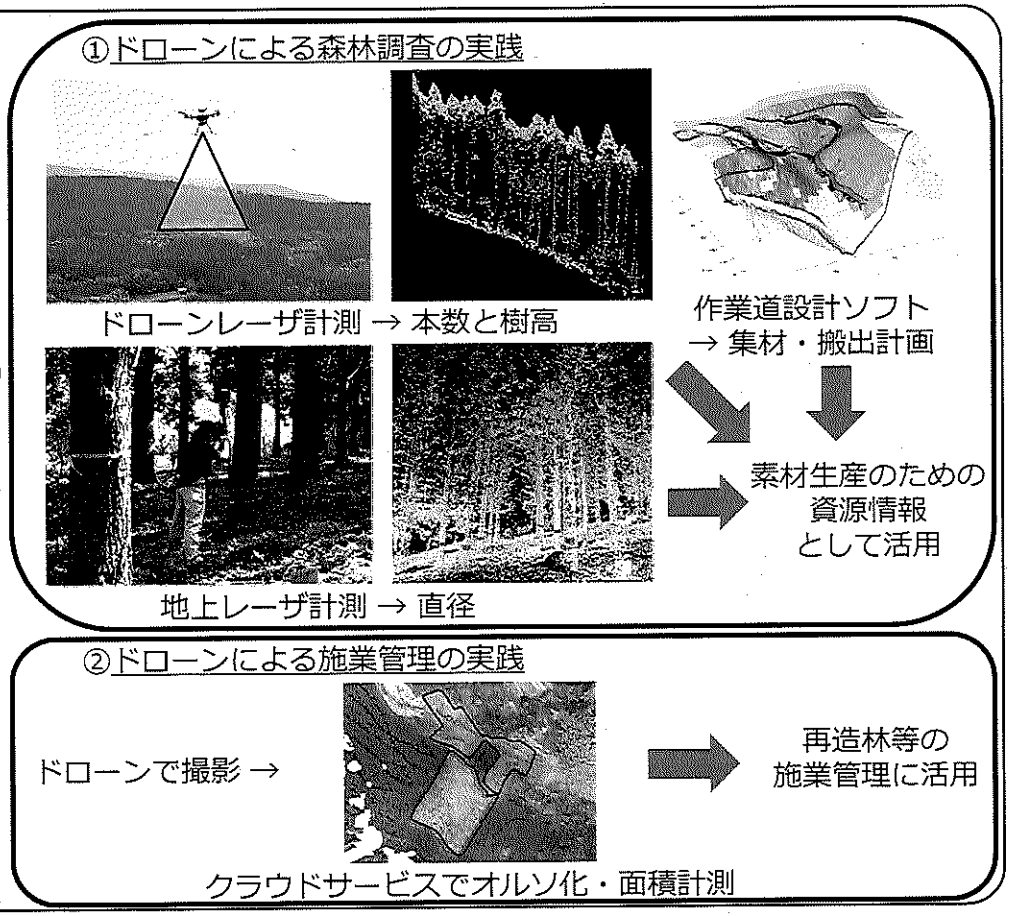
②ドローンによる施業管理の実践（1,540千円）
クラウド型ドローン測量サービスを活用したオルソ画像による再造林等の施業管理の実践

(2) 事業の仕組み

県 ⇒（委託）⇒ 県森林組合連合会等

(3) 成果指標

レーザ計測等を活用した森林調査累計面積
R4 0ha → R7 40ha
クラウドを活用した再造林等の管理累計面積
R4 0ha → R7 200ha



事業の期間

令和６年度～令和７年度